

IWR-P形 誘導形電力継電器 自動制御用

Type IWR-P Induction Type Power Controlling Relay

本器は負荷電力の増減に応じて機器の運転、停止を自動制御する場合に使用される積分動作の三相平衡形電力継電器です。

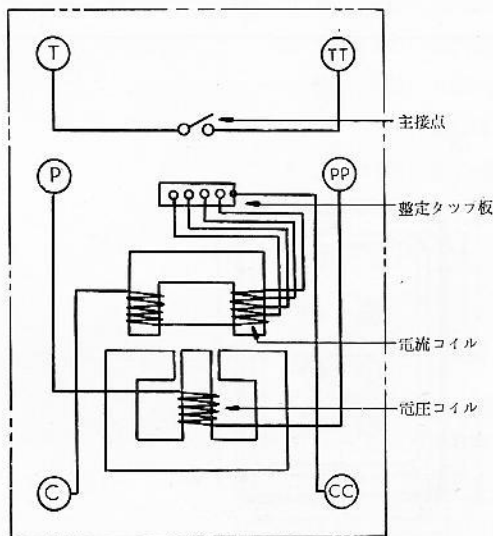
構造と動作

本器は誘導円板形の構造で、電圧要素と電流要素によつてトルクを与えられる電力式の継電器で、誘導円板をはさんで上部に電流コイルを、下部に電圧コイルを取り付け、線間電圧に対して30°進みの線電流を加えます。

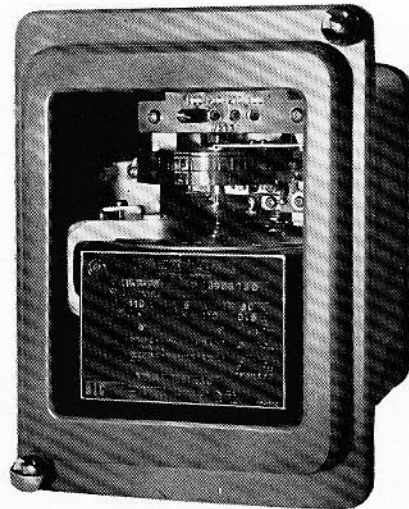
また自動制御用として理想的な積分動作に近づけるため、制御スプリングの復帰方向トルクによる反限時性の復帰時限と、回路の電力の動作方向トルクによる反限時性の動作時限がほぼ同等になるよう調整されています。したがつて整定値に対する偏差を時間で積分した値が一定値に達すれば動作します。

本器は力率補償のために電圧コイルに直列に抵抗をそう入します。抵抗は温度特性のよいマンガニン線を使用しており、電圧コイル自体の抵抗が無視できる程度の大きさに選んであるため、継電器の温度特性は非常にすぐれたものとなつています。

時限目盛板と時限レバーを備えており、動作時限はレバーを動かすことによつて任意に整定することができます。



第2図 内部接続図(裏面)

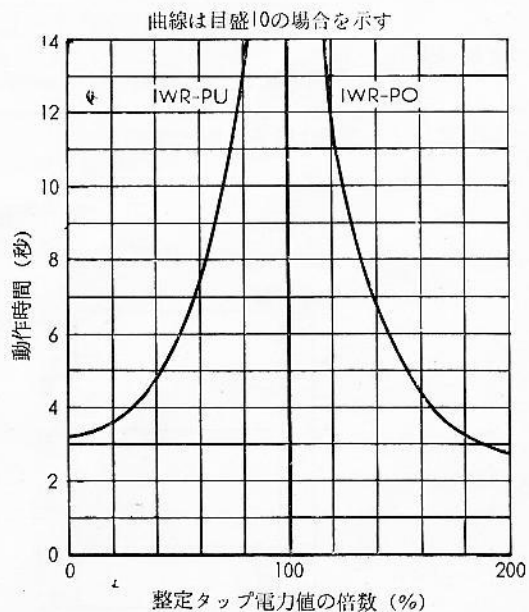


第1図 IWR-PO形 誘導形電力継電器(埋込形)

定格は110V, 5Aとし、4タップを標準とします。本器の時限特性を第3図に示します。

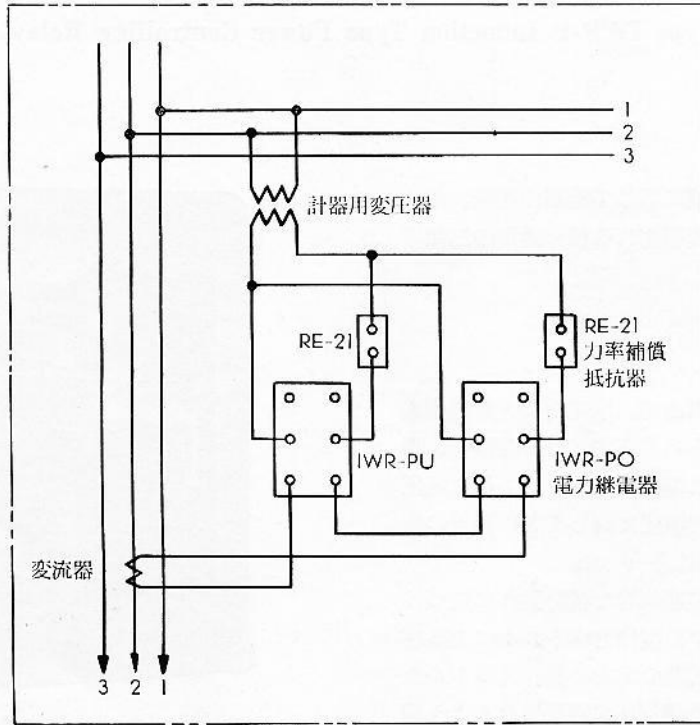
IWR-P形として下記の2種類があり、2個1組でもつて自動制御回路を構成します。

- 過電力検出用 IWR-PO形
- 不足電力検出用 IWR-PU形



第3図 時限特性

外部接続



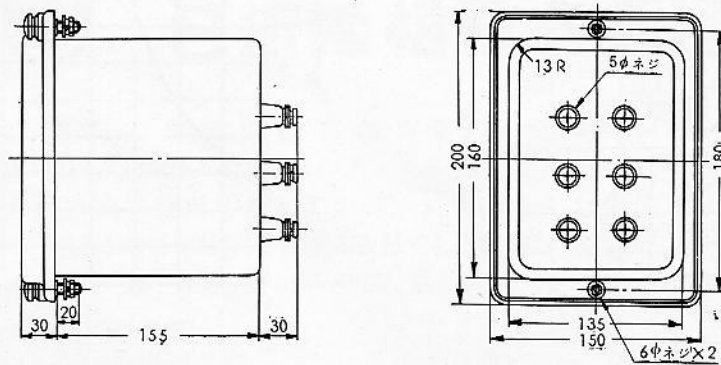
第4図 外部接続図 (裏面)

IWR-P形誘導形電力継電器標準定格表

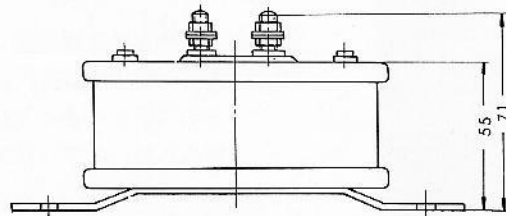
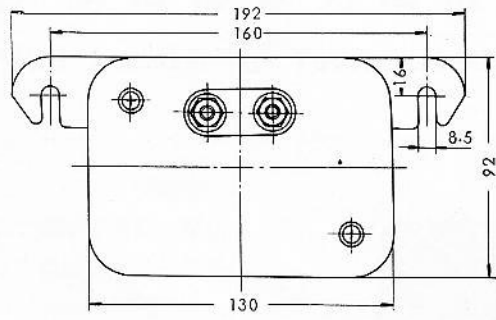
形式	定格	整定範囲	周波数	備考
IWR-PO	110 V 5 A cont	各種 (4タップ)	50 ~ または 60 ~	過電力検出用 埋込形
IWR-PU	110 V 5 A cont	各種 (4タップ)	50 ~ または 60 ~	不足電力検出用 埋込形

(注) 1. 重量は約 3.5 kg です。

外形寸法



第5図 IWR-P形継電器外形寸法図 (埋込形)



第 6 図 RE-21 形 力率補償抵抗器外形寸法図

—ご注文に際しては次の事項をご指定下さい—

1. 用 途： 使用回路と被制御機器および制御回路
2. 周 波 数： 50、60 への別
3. 定 格： タップ整定範囲二次側換算値 (W)
または一次側の値と P.T、C.T 比
4. そ の 他： 標準外の仕様がある場合